



愛知工業大学
愛知工業大学情報電子専門学校
愛知工業大学名電高校
愛知工業大学附属中学校

目次:

名誉教授に11氏	2
野牧元校長死去	2
最多3278人来場	3
就職率私学1位	4
海洋大が本学へ	5
技能五輪敢闘賞	6
院生2人野口賞	6
卓球大学日本一	8

発行所
名古屋電気学園
〒470-0392
豊田市八草町八千草1247
TEL (0565) 48-8177

愛工大舞台 映画撮影始まる

学園百周年記念 総監督に堤客員教授

愛知工業大学は名古屋電気学園創立百周年を記念して映画を製作することになり八月二十三日、八草キャンパスで撮影が始まりました。本学各員教授でもある堤幸彦監督が企画・総監督として協力、プロと学生スタッフが一体となって取り組んでいます。タイトルは「A・F・O」。愛工大を舞台にした二十一世紀のニューキャンパスムービーで、来春公開を予定。夏休みの大学構内では集中的にロケが行われ、盛り上がっています。



学生たちが出演、A・F・Oの前広場で始まった映画の撮影

撮影はA・F・O前広場で始まりました。これに先立ち学内食堂で、実際に

指揮を執る多胡由章監督らスタッフと学生たちが一緒に、FC(フードコーディネーター)部が作ったカレーライスを食べ、決起集会。多胡監督は「学生さんは三カ月間灼熱の太陽の下で準備してくれました。これらが本番です。燃えましよう」と力強く呼び掛けました。また二十一日には安全祈願祭も行われ、撮影の無事とヒットを祈願しました。

映画は、本学の教育の柱である「ものづくり」をリアルに体験できる場を学生たちに提供しようと、昨年

の学園創立百周年を機に製作機運が盛り上がり、後藤泰之学長が先頭に立って呼び掛けて実現し、プロのスタッフ、学生、教職員合わせ二百五十人体制が整いました。

五月二十八日にはキックオフミーティングも開かれ堤監督が来学、映画づくりにかける思いを学生たちに語りました。「映画づくりは大変な手間がかかりますが、楽しんで、笑いながら、満足のいくものを作りましょう」と話し、脚本構想も披露していました。タイトルの「A・F・O」は

ALL FOR ONEの略で、サッカーを題材に愛工大の持つ独特の魅力、味わいや国際性、工業大の最先端テクノロジーを感動でくるとんだ映画に仕上げたいとのことでした。出演者は数人のプロの俳優を除き、大半は学生や教職員が務めま

附中卓球部

春夏連覇！

個人も木造選手V

附属中卓球部は八月十九日、岐阜メモリアルセンターで開かれた全国中学校卓球男子団体決勝で青森山田(青森県)を3-1で破り、十五年ぶり七度目の優勝を決めました。三月の中学選抜でも優勝しており、春夏連覇を成し遂げました。翌二十日の男子シングルスでも木造勇人選手(二年)が個人優勝を果たしました。

団体決勝は高見真己選手(二年)、木造選手が連続して勝ち、勢いに乗りました。復は落としたものの、四番手の松山祐季選手(三年)が青森山田の選手に対し優

す。

堤監督は名古屋市出身。「金田一少年の事件簿」をはじめ数々のヒット作を手がけました。斬新な作風はテレビドラマ界に大きな影響を与えました。二〇一〇年に本学の客員教授に就任しています。

全国中学卓球で団体優勝、春夏連覇を成し遂げ、後藤淳理理事長らと記念写真に収まる選手ら



位に試合展開、優勝を決めました。

名古屋電気学園の創立百周年を機に、「卓球の名電」を復活させようと卓球部強化に取り組んできたのが、実を結びました。

名誉教授に小嶋氏ら十一氏

名古屋電気学園は七月九日、愛知工業大学名誉教授の称号授与式を八草キャンパスで行い、元副学長の小

嶋憲三氏ら十一人に称号を授与しました。本学に多大の功績が認められる元教授に授与され、累計で五十九

人となりました。後藤淳理事長が一人ひとりに称号記を手渡し、「先生方は大学が勢いに乗った

成長期に大きな役割を果たしていただきました。今後とも元氣な姿を見せていただき、日本の牽引力はまだまだ我々の手にあるという気持ちでご活躍を」と祝福しました。後藤泰之学長も「おめでとうございます。



名誉教授たちをねぎらう後藤淳理事長

名誉教授称号記を手に晴れやかな表情で記念写真に収まるみなさん。前列中央は後藤淳理事長



名誉教授の称号を贈られたみなさん

- 植田 明照氏 (元工学部電気学科教授)
- 小嶋 憲三氏 (元工学部電気学科教授、副学長)
- 岩永 弘之氏 (元工学部機械学科教授、みらい工房長)
- 林 二一氏 (元工学部機械学科教授)
- 青木 徹彦氏 (元工学部都市環境学科教授、耐震実験センター長)
- 四俵 正俊氏 (元工学部都市環境学科教授)
- 尾形 素臣氏 (元工学部建築学科教授)
- 坪井 常世氏 (元工学部建築学科教授、入試本部長)
- 林 金之氏 (元工学部建築学科教授)
- 中川 覃夫氏 (元経営学部経営学科教授)
- 服部 忠一朗氏 (元基礎教育センター教授、基礎教育センター長)

これからは大学を外から見て、ぜひアドバイスをお願したい」と話しました。

これに対し小嶋氏が代表して「大学を離れてみると、学園や大学の名前が出る度、関心がわきます。学園の今後の発展を見守ってほしい」とお礼の言葉を述べました。四十年以上勤めた人も多く、懇談会では「長い間充実した生活を送れました」「様々な研究をさせていただき、感謝していません」などお礼とともに懐かしい思い出話などが披露されていました。最後に記念写真を撮影しました。

淳和記念館に見学者多数 学園創立百周年を記念して若水キャンパス内に建設された淳和記念館メモリアルギャラリーの見学会が四月十三日、六月二十九日の毎週土曜日午前が開かれ、期間中に計百五十三人が訪れました。

メモリアルギャラリーでは年表や文書、写真など多数の資料が展示され、中部初の電気学校の百年の変遷を知ることができます。見学会は近隣住民をはじめ教職員や関係者を対象に企画されました。

訃報

野牧 一雄氏 (のまき・かずお) 元愛知工業大学名電高等学校校長、名古屋電気学園評議員、愛知ウエイトリフティング協会会長) 八月八日、急性心筋梗塞により死去されました。



七十九歳。長野県読書村出身。故人の希望で同村の自宅で密葬が営われました。お別れの会が十月二十七日に予定されています。

昭和二十四年、名古屋電気学校に県下初のクラブを設立したのを機にウエイトリフティングの発展に尽力、高体連部長、名古屋市体育協会副会長などの要職を歴任されました。平成十六年、旭日双光章を受章。七月三十一日の高校野球愛知大会決勝では野球部を元氣に応援していました。加藤訓高同窓会長は「名誉理事として同窓会活動にも熱心にご指導いただき、突然の訃報に愕然としています」と話していました。

オープンキャンパス 最多3278人来場

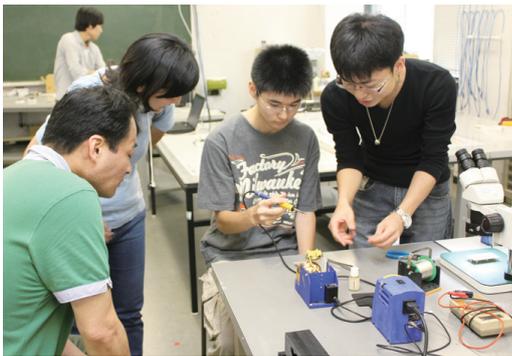
大学の「オープンキャンパス2013」が七月二十七日、二十八日、八草自由ヶ丘両キャンパスで開かれ、高校生や保護者ら過去最多の三千二百七十八人が訪れました。全学で五十以上の専攻デモンストレーションが繰り広げられ、入試広報課では「先生方や学生がよく頑張ってくれました」と振り返っていました。またアンケートでも「学ぶ内容がよく分かった」「進



学生によるトークライブもあり、学食メニューも話題に

路の参考になった」「説明が分かりやすかった」などの好意的な意見が目立ちました。

来場者は説明を受けた後、学生たちの誘導で、お目当ての学部、学科のデモンストレーション会場へ。各専攻デモでは院生や学生が熱心に実験の披露、説明をしていました。一号館では二階から七階までコンピュータワールドとなっていました。機械工場では



電気工学の基本ははんだ付け。学生の指導で体験する高校生

車に見入る姿、エクステンションセンターでは骨密度を測る姿も見られました。本学を第一志望先に考えている高校生も多く、豊田市から同級生十人で工学部へ見学に来た男子の一人は「電気工学が第一志望。絶対入りたい」と話し、岐阜市から母親と二人で来た高校生は「昨年も来ましたが進路は応用化学と決めていきます」と話していました。兵庫県や長野市など遠方からの家族連れも目立ちました。長野からの一家四人は「長野県内には工業系が少ないので愛工大を考えている。寮も見たい」。



高校生や保護者を対象に、個別に応じた入試相談

た滋賀県の男子二人は「食のランチはおいしかった。志望先はよく考えた」と話していました。名電高生の四人は耐震実験センターで震度七を体験していました。



バイオ実験に取り組む高校生

十九高校に加え、ことしから名電高校も参加、両日合わせ約四百人の高校生が高連携特別講義を受けました。この特別講義は愛工大に入学した際に一定の条件をクリアすれば単位認定されます。

両日とも、午前十一時から全学年共通講座で、三日はキャリアセンターの粟津敬雄事務部長兼客員教授が『ものづくり』って何?』と題して、四日は鳥居一平情報科学科准教授が『プロジェクションマッピング(最先端CG映像の世界)』と題して、それぞれ講義しました。

バイオ実験に 高校生ら関心

高大連携プログラム

進学意欲の向上や大学選択の一助にしようという「愛知工業大学 高大連携プログラム」が八月三、四日、八草キャンパスで開かれました。連携協定を結ぶ岡崎東、安城南など愛知県内の

午後は学年別を選択する十三講座が用意され、各学部、センターの教授らが蓄電池、ファインセラミックス、三次元プリンター、ロボット制御など様々なテーマで講義しました。こううち、西村聡子応用化学科准教授のバイオテクノロジー実験体験講座も関心を集めていました。生徒たちは紫外線をあてると緑色の蛍光を発するタンパク質について勉強、大腸菌からこのタンパク質を取り出す実験も体験しました。

大学就職率九二・八% 私立大でトップ

大学の二〇一三年三月卒業生の就職率は九二・八%、学部別では工学部九四・二%、経営学部九二・三%、情報科学部八七・〇%でした。大学キャリアセンターのまとめです。

全国二百四十六大学の就職率ランキング(サンデー毎日、七月二十八日号)では、大学全体の就職率は卒業者数が千人以上の分類で、全国六位でした。私立大学としてはトップです。

昨年度後半までの長引く不況下、厳しい就職状況の中で、好成績を維持している背景には学生自身の努力、学生や卒業生に対する

社会的評価のほか、教員の熱心な就職指導、愛名会などの後援組織、キャリアセンターの様々なサポートプログラムなど、総合的な就職支援体制があげられます。

キャリアセンター詳細は <http://www.aitsushshoku.com/>

「就活塾」スタート

大学キャリアセンターは六月二十四日の週から学部三年生、大学院一年生を対象にした「就活塾」を始めました。十二月一日の求人情報の解禁を皮切りに、企業訪問や面接など本年度の就職シーズンが本格化するのを前に、しっかりと準備してもらおう狙い。

学生への就職アドバイスは、以前は大教室で行われていましたが、一昨年から「顔が見える距離で」と少人数形式に変更し、月々金曜の午前と午後、週に計十回、二十人ずつ出席して開

間近に顔を合わせながら相談する講師の職員と学生たち



くことにしました。

第一弾は「自己分析」がテーマで自己の強みを発見してもらおう。センター職員が交代で講師となり、全員が自己紹介して趣味などを

披露しました。また「就職ノート鉄人」を活用して、自分にできること、向いていること、仕事の方向性など自己分析しました。第二弾は十月二十八日の週で「履歴書を書いてみよう」、第三弾が十二月九日の週で「模擬面接」。

定員は二百人ですが、第一弾では出席者は定員をオーバーし二百三十九人。就職への不安と同時に塾への期待感を窺わせました。大茂真課長は「背景として求人は増えているが、今の企業はいい人材しか採らないので安心できない。しっかりと勉強してほしい」と話していました。

子どもたちに科学への目を開いてもらおうと「まるごと体験ワールド」が八月三日、大学の八草キャンパスで開かれ、小中学生二百二十六人、保護者二百六十七人が参加しました。豊田、瀬戸、長久手、みよしの周辺四市で参加者を募集する地域貢献事業として毎年開かれ、ことしで十二回目。すっかり定着し、小中学生は定員の約三倍の六百八十五人の応募があり、抽選で選ばれました。午前のみ、午後のみ、午前後通しの三タイプで計

親子で楽しく「まるごと体験」

地域貢献十二回目



電子オルゴールを作った親子



ロケットに空気を注入する親子

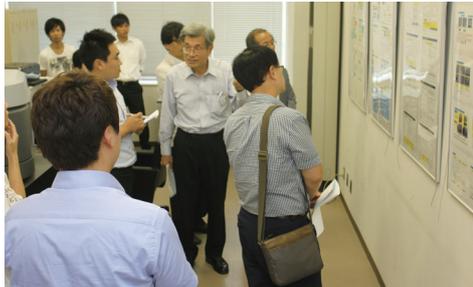
十一講座が各学部教室で開かれ、「電気ってなんだ?」「分子模型の作成」「お手軽三次元CG」など多彩なテーマで各学科の先生や学生たちが丁寧に指導にあたっていました。

小学生対象の、「雨が降り出すと鳴る電子オルゴール」の講座では湿ったティッシュを当てると実際に音が鳴り出し子どもたちは大喜びでした。「ヒノキで木工体験」では電気ドリルで穴をあけたり、サンドペーパーで磨く女の子の姿も見られました。「ペットボトルで簡単ロケット」は完成後、隣のサッカー練習場で試験飛行、高圧の水と空気で勢いよく飛んでいき歓声が上がっていました。

新たな交流を模索

韓国海洋大学から訪問団

韓国海洋大学校(釜山広域市)の訪問団が八月二十日、愛工大を訪れ、学生同士や学術研究面での交流をさらに深めていくことを話し合いました。同大学とは七年前に協力を締結しましたが、ことし五月には学術協



グリーンエネルギー研究拠点
を見学する海洋大訪問団

定と改名して更新、同時に学生交流協定も締結しました。さらに愛工大総合技術研究所が進めるグリーンエネルギー研究拠点に韓国側からも参加していることもあり、話が進みました。訪れたのは趙琮来工科大学長ら教授五人、学生五人。

本部棟会議室で後藤泰之学長ら幹部が出迎え、澤木宣彦総研所長の司会で意見交換。この中で後藤泰之学長は「本学をゆっくり見学していただいて新たな交流のきっかけを見つけていただければ」と歓迎、趙大学長も「愛工大は活気があふれている。工科大とは共通の学科も多く、学生、先生方の交流が深まることを期待したい」と述べました。

津波避難調査 防災研が協力

大学の地域防災研究センターは七月十五日、愛知県南知多町の内海海水浴場で行われた津波避難訓練に協力、海水浴客らの避難行動を調査しました。同町とはセンターの地震計が町内に設置されている縁で交流を続けており、南海トラフ巨大地震の被害想定では、最大十万人の津波により、同町の住民約二十万人のうち一割以上の二千三百人が死亡するとの予測もあり、共同で対策を協議しています。訓練には千鳥ヶ浜海岸の海水浴客や業者、住民ら合

続いて一行はロボットミュージアム、総研などの学内施設を見て回り、熱心に質問をしていました。学生同士の研究発表もあり、海洋大側は半導体について、愛工大側はグリーンエネルギーについて三人ずつ発表しました。



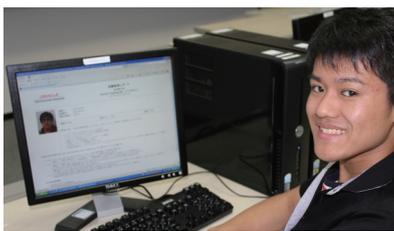
避難訓練の調査に協力した本学の学生

海洋大は国立で工科大のほか海事、海洋科学技術、国際の大学(学部に相当)があり、学生は約九千人。

正木センター長は「海水浴場での津波避難調査は初めて。きちんと避難できたかどうか検証し、来年はさらに大規模に行いたい」と話していました。

ORACLE MASTER ゴールドを取得

愛知工業大学情報電子専門学校の高度情報処理学科三年制課程三年の伊藤雄大君が、ORACLE MASTERのゴールドを取得しました。この資格は情報処理システムのオラクル社が運営するデータベースの認定試験で、上からプラチナ、ゴールド、シルバー、ブロンズの四ランクがあります。民間試験なので合格率など公表されることはありませんが、ゴールドを取得すればIT業界でも高く評価されるという難関です。



伊藤雄大君が、ORACLE MASTERのゴールドを取得しました。この資格は情報処理システムのオラクル社が運営するデータベースの認定試験で、上からプラチナ、ゴールド、シルバー、ブロンズの四ランクがあります。民間試験なので合格率など公表されることはありませんが、ゴールドを取得すればIT業界でも高く評価されるという難関です。

同学科は授業でこの資格取得を指導しており、卒業までにブロンズが八〇、九五%、シルバーが三年制課程のみ対象で五七%の取得率になっていますが、ゴールドの合格者は、開校以来初めてです。伊藤さんはブロンズ、シルバーと順を追って合格、「次第に授業が楽しくなり興味がわいた」とゴールド受験を決意、勉強法としては時間を決めるのではなく、七百ページ近い教科書を毎日十〜二十ページ、四カ月間欠かさず読んで勉強したとのこと。今年三月に受験したところ、合格ライン六六%に対し正解率八九%の好成績でした。

最高ランクのプラチナにも意欲があり、来春就職してから挑戦する考えです。

技能五輪で敢闘賞



大学の情報科学科一年中野雄都君は写真が七月二日〜七日、ドイツ・ライプチヒで開かれた第四十二回技能五輪国際大会で敢闘賞

に輝きました。中野君は大学生として日本からただ一人出場し、ビジネス業務用ITソフトウェア・ソリューションズという競技職種で、日本の過去最高となる十二位(全二十一カ国)に入りました。

競技職種のITソフトウェア・ソリューションズはMicrosoft Office (Word、Excel、PowerPoint、Access) を駆使してビジネ

大学情報科学科 1年の中野君

ス業務に関する課題を解決するものです。

中野君は名古屋市立工芸高校情報科三年生だった昨年八月に「若年者ものづくり競技大会」で全国優勝を果たし、出場権を獲得。一年近く猛勉強をして本番に備え、本学も初の技能五輪選手となる中野君のパソコンや英語の習得などを支援しました。

今回は開催地のドイツに

ちなみ自動車会社に関する文書、賃金計算、顧客管理などが出題されました。大会期間中の三日間は午前と午後、各二時間三十分ずつ計六間に取り組み、四日目に英語と日本語を交えたプレゼンを行い、平均点以上の成績を収めたようです。中野君は大会後、八草キャンパスで末永康仁情報科学部長からお祝いと励ましを受け、「一生に一度しか出場できないので貴重な経験になりました」と話していました。

大学院生2人に野口賞

大学院経営情報科学研究科の院生二人が七月十一日



十三日まで、北海道で開かれた情報処理学会の「DICOMO2013」でデジタルコンテンツに関する研究のデモ発表を行い、優秀デモンストレーション賞として野口賞を受賞しました。二人は水野研究室(水野慎士情報科学科准教授)に所属する博士前期課程経営情報科学専攻一年の近藤

野口賞を受けた近藤さん(中)、松井君(右)と指導にあたった水野准教授



菜々子さんと松井雪治君です。

近藤さんの研究は「CGと音でお絵描きを拡張する不思議なスケッチブック」写真上で、普通の紙にペンで描いた絵をカメラで撮影すると、画像処理によって三次元CG化され

て立体的に浮き上がって見えます。四年生の時に卒業研究として取り組み、既に小学校で実験的に披露しているほか、各種の学会でも発表しています。初期の作品に比べ、川の絵なら水の流れる音、ネコの絵なら鳴き声が聞こえるなど音も出るように進化。デモンストレーション全体の一位となりました。なお、この研究は同学会の原著論文として採録が決定しているほか、SIGGRAPH2013

でもポスター発表されま

す。近藤さんは「学術的に評価してもらえたのがうれしい」と話し、同時開催されたデジタルコンテンツ制作発表会でも優秀賞を受賞しました。

松井君の研究は、カメラで麻雀の手牌を撮影し計算する「スマートフォンを用いた麻雀自動得点計算システムの提案」写真下。こうした得点計算システムは初めてといます。牌が順序良く並んでいなくても役を認識できます。ただ現時点では十秒ほどかかり、リーチなど他の情報は別に入力する必要がありますものの、計算が苦手な初心者には役立つそう。デモンストレーション会場でも、「アプリを作ってほしい」という声が出るなど話題を集め、松井君は「今後さらに作り込んでいきたい」と話していました。

野口賞は「産業への貢献が期待される」として仙台応用情報学研究振興財団の野口正一理事長(東北大学名誉教授)から贈られるもので、指導に当たる水野准教授自身も昨年、受賞しています。

名古屋電気学園の平成24年度決算概要

学校法人名古屋電気学園の平成24年度決算は5月28日の理事会と評議員会において決定、承認されました。その概要は、以下の通りです。

▼「資金収支計算書（会計年度に行った諸活動に対応する全ての収入と支出の内容と当該年度に係る支払資金の収入と支出のてん末を明らかにしたもの）」の決算総額は、268億3千万円、「施設関係支出」には、学園創立100周年を記念して若水キャンパス内に建設した、淳和記念館の建設に係る支出が含まれています。

▼「消費収支計算書（会計年度の消費収入と消費支出の内容と両者の均衡状態を明らかにし、経営状況を表すもの）」における、「帰属収入合計（授業料、入学検定料、補助金など法人の負債とならない収入）」は、115億4千万円、「基本金組入額合計（教育研究の充実のために取得し

た固定資産の価格や将来の施設取得のための計画的な積立金など）」を「帰属収入合計」から差し引いた「消費収入の部合計」は、109億円となりました。「消費支出の部」は、115億1千万円であり、「当年度消費支出超過額（消費収入の部合計）から「消費支出の部合計」を減算した結果）は6億2千万円、「前年度繰越消費支出超過額」27億円と合算した後、「基本金取崩額（施設・設備の処分に伴う所得額の減額）」6千万円を減算した「翌年度繰越消費支出超過額」は、32億6千万円となりました。

▼「貸借対照表（年度末における資産、負債、基本金及び消費収支差額を把握し、財政状態を表すもの）」の「資産の部合計」は649億円、「負債の部合計」は、69億4千万円となりました。

詳しくは、名古屋電気学園ホームページの「事業報告・財務状況【名古屋電気学園 - 学園の構成 - 法人情報】」をご覧ください。

資金収支計算書（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）（単位 千円）

収入の部		支出の部	
科目	決算	科目	決算
学生生徒等納付金収入	8,900,466	人件費支出	6,599,241
手数料収入	342,214	教育研究経費支出	2,392,075
寄付金収入	217,102	管理経費支出	694,456
補助金収入	1,345,171	借入金等利息支出	17,947
資産運用収入	94,800	借入金等返済支出	329,086
資産売却収入	201,365	施設関係支出	872,471
事業収入	98,163	設備関係支出	576,655
雑収入	513,646	資産運用支出	854,320
前受金収入	1,745,370	その他の支出	591,005
その他の収入	1,570,249	資金支出調整勘定	△ 758,214
資金収入調整勘定	△ 2,137,319	次年度繰越支払資金	14,657,065
前年度繰越支払資金	13,934,880	支出の部合計	26,826,107
収入の部合計	26,826,107		

消費収支計算書（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）（単位 千円）

消費収入の部		消費支出の部	
科目	決算	科目	決算
学生生徒等納付金	8,900,466	人件費	6,513,773
手数料	342,214	教育研究経費	4,032,446
寄付金	234,176	管理経費	861,651
補助金	1,345,171	借入金等利息	17,947
資産運用収入	94,800	資産処分差額	85,467
資産売却差額	444		
事業収入	98,163	消費支出の部合計	11,511,284
雑収入	524,194	当年度消費支出超過額	621,656
帰属収入合計	11,539,628	前年度繰越消費支出超過額	2,697,550
基本金組入額合計	△ 650,000	基本金取崩額	△ 59,358
消費収入の部合計	10,889,628	翌年度繰越消費支出超過額	3,259,848

貸借対照表（平成25年3月31日）

（単位 千円）

資産の部		負債、基本金、消費収支差額の部	
科目	決算	科目	決算
固定資産	49,470,946	固定負債	3,925,773
流動資産	15,399,738	流動負債	3,010,693
		負債の部合計	6,936,466
		基本金の部合計	61,194,066
		消費収支差額の部合計	△ 3,259,848
資産の部合計	64,870,684	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	64,870,684

男子卓球部 大学日本一 13年ぶり 5回目



優勝を決め後藤淳理理事長（前列右から3人目）を囲んで記念撮影する選手たち

手権大会（団体の部）決勝で青森大学を3―2で破り、十三年ぶり五回目の優勝に輝きました。

男子卓球部は予選リーグから準決勝まですべてストレート勝ち。決勝の青森大学戦は接戦となりましたが、吉田雅己選手（経営学科一年）、森本耕平選手（同四年）と吉村真晴選手（同二年）のペアが安定した力を発揮、最後は主将

大学男子卓球部は六月三十日、愛知県豊田市のスカイホール豊田で行われた「全日本大学総合卓球選

の森本選手がきつちり締め、優勝しました。また、準決勝の対明治大学戦、吉村選手がロンドン五輪日本代表の丹羽孝希選手と対戦し、注目を集めました。接戦の末3―2で吉村選手が制しました。鬼頭明監督は「森本主将をはじめ選手全員が優勝へ向けて気持ちが最高にまとまっていたのが勝因。地元で恩返しできてよかった」と話していました。大会には全国から四十八大学が参加しました。後藤淳理理事長や後藤泰之学長も会場を訪れ、最後まで試合の行方を見守りました。

の森本選手がきつちり締め、優勝しました。また、準決勝の対明治大学戦、吉村選手がロンドン五輪日本代表の丹羽孝希選手と対戦し、注目を集めました。接戦の末3―2で吉村選手が制しました。鬼頭明監督は「森本主将をはじめ選手全員が優勝へ向けて気持ちが最高にまとまっていたのが勝因。地元で恩返しできてよかった」と話していました。大会には全国から四十八大学が参加しました。後藤淳理理事長や後藤泰之学長も会場を訪れ、最後まで試合の行方を見守りました。

高校将棋部女子が連覇



連覇を果たした左から水野葵さん、水野翠さん、遠山侑里さん、顧問の原野照久教諭

高校将棋部女子は第四十九回全国高校将棋選手権大会の女子団体戦決勝で函館中部（北海道）を3―0で下し、昨年の優勝に続き連覇を果たしました。

女子団体戦には最多の三十八校が出場。名電のメンバー三人は前年優勝の水野翠選手（三年）、遠山侑里選手（二年）に、ことしから水野さんの妹の葵選手（二年）が加わりレベルアップ。

プ。名電は予選を一位で通過、準決勝は昨年一番苦しめられた葦山（静岡）でしたが相手のミスもあり逆転勝ち。愛知勢の南山も予選を二位で通過しましたが、南山が準決勝で函館中部に敗れる波乱があり、顧問の原野照久教諭は「どうしても連覇したいという執念で頑張ったのが勝因」と話し、水野翠選手は「ことしで最後なので優勝できてうれし」と喜んでいました。選手権は七月三十一日、

八月一日に長崎県で開かれ、史上最多の四百三十四人が参加しました。名電高校は男女ペアの出場で話題を集めました。男子は残念ながら及びませんでした。一方、将棋部は昨年の優勝に対し愛知県教育文化奨励賞の知事表彰に選ばれ、八月十七日、県芸術劇場で行われた県高校総合文化祭の開会式で表彰されました。開会式で名電高校吹奏楽部が演奏を披露、オープニングに花を添えました。

高校野球部が 愛知大会連覇

高校野球部は七月三十一日、岡崎市民球場で行われた愛知大会決勝戦で、2―1で愛知黎明を破り優勝、二年連続十一度目の夏の甲子園出場を決めました。四回、中前打で出塁した中野選手が敵失と犠打で三塁まで進み、服部選手がスクイズを決めて先制、六回にも1点を追加、試合を決定づけました。エース東投手は威力のある直球と変化球を織り交ぜる投球で要所を締めていました。閉会式で優勝旗を贈られた遠田主将らナインはダイヤモンドを一周し写真し、応援の生徒と喜びを分かち合いました。甲子園では大会二日目の八月九日第一試合に出場、四番に起用された石浜亮太選手が初回に2点本塁打を打ち先制、五回には三重殺で勢いづきましたが、七回に逆転され、あと一歩及ばず初戦突破はなりません。選手たちに応援団から「よく頑張ったぞ」のねぎらいの言葉が飛んでいました。

